

21c12指導法02_中数2 数学に対する関心・意欲・態度を評価する作問

【問題】 A先生は、中学校1～3年のいずれかの学年で、「数と式」の領域の指導を終えた段階で、生徒の“数学に対する関心・意欲・態度”をペーパーテストで評価したいと考え、そのための問題をつくりました。この問題の模範解答を示し、A先生の出題の意図を推測しなさい。

【A先生が作った問題】(中数2)

2けたの整数Aがある。その一の位と、十の位を入れかえた数をBとするとき、 $A + B$ は11の倍数であることを式に書いて説明せよ。

《模範解答》と〔出題の意図〕

班番号 _____ 答案作成者：学生番号 _____ 名前 _____ 得点： _____ 点
採点者：学生番号 _____ 名前 _____